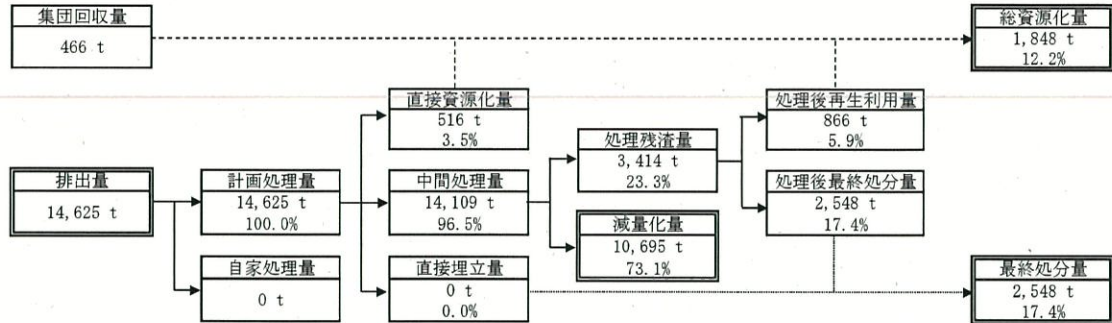


## 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成23年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1のとおりである。

総排出量は、14,625 tであり、再生利用される「総資源化量」は1,848 t、リサイクル率(=総資源化量/総排出量)は12.2%である。



※端数処理のため比率数値の合算が整合しない部分がある。  
 ※総資源化量には集団回収量を含むため比率合算が整合しない。

図1 一般廃棄物の処理状況フロー

### (2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 減量化・再生利用に関する現状と目標

| 指標    |                           | 現状(割合 <sup>※1</sup> )<br>平成23年度 | 目標(割合 <sup>※1</sup> )<br>平成30年度 |
|-------|---------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 排出量   | 事業系 総排出量                  | 5,517 t                         | 5,211 t (-5.5%)                 |
|       | 1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup> | 2.87 t/事業所                      | 2.52 t/事業所 (-12.2%)             |
|       | 家庭系 総排出量                  | 9,108 t                         | 8,758 t (-3.8%)                 |
|       | 1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>   | 224 kg/人                        | 212 kg/人 (-5.4%)                |
| 合計    | 事業系家庭系排出量合計               | 14,625 t                        | 13,969 t (-4.5%)                |
| 再生利用量 | 直接資源化量                    | 516 t(3.5%)                     | 397 t (2.8%)                    |
|       | 総資源化量                     | 1,848 t(12.2%)                  | 2,134 t (14.2%)                 |
| 熱回収量  | 熱回収量(年間の発電電力量)            |                                 |                                 |
| 減量化量  | 中間処理による減量化量               | 10,695 t(73.1%)                 | 10,441 t (74.7%)                |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量                   | 2,548 t(17.4%)                  | 2,467 t (17.7%)                 |

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

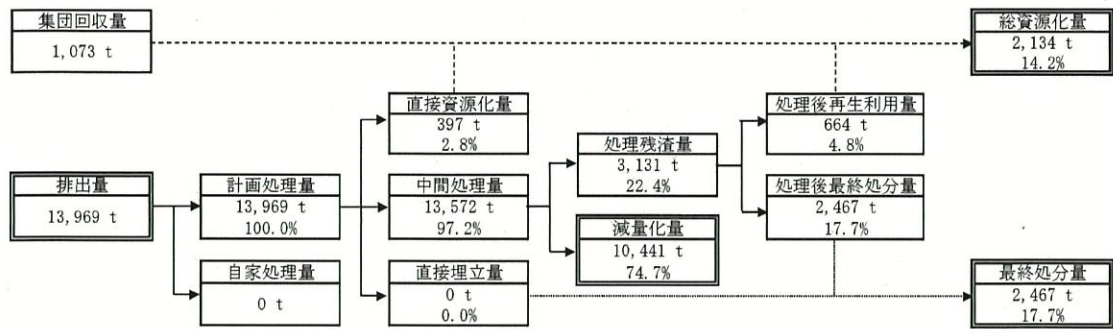
排出量: 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く) [単位: t]

再生利用量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: t]

熱回収量: 熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh]

減量化量: 中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位: t]

最終処分量: 埋立処分された量 [単位: t]



※端数処理のため比率数値の合算が整合しない部分がある。

※総資源化量には集団回収量を含むため比率合算が整合しない。

図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー